

[寄 稿]

[ご挨拶] ESG 経営の推進により 技術と人材の価値を高める

代表取締役社長 濱田州朗

平素は当社グループへのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。2025年4月からの社長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。当社は創業者の田熊常吉が発明した純国産ボイラーの開発・製造からスタートし、その技術を活かして今では一般廃棄物処理プラントや水処理プラント、エネルギー・プラントなどのプラントエンジニアリングとそのアフターサービスを手掛けております。80年以上にわたって事業を続けることができましたのも、技術を磨き、お客様との真摯なお付き合いを通じて、ご信用・ご信頼を頂けたことによるものと考えております。



当社グループの2030年に向けた長期ビジョン「Vision2030」では、再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続けることを掲げ、「ESG 経営の推進」によりお客様や社会とともに持続的に成長していくことをめざしています。現在、環境とエネルギーの分野においては、社会インフラの老朽化、非化石エネルギーの活用、脱炭素社会や循環経済の実現に向けた取り組みなど、社会課題やお客様のニーズは多様化しております。ビジョンの実現に向けてはこれらの課題やニーズに対応した技術を生み出し磨いていくことが重要ですが、この技術を支える人材もまた重要です。

「ESG 経営の推進」にはさまざまな意味合いがありますが、そのうちの1つとして、「技術と人材を大切にすること」、すなわち、お客様に製品やサービスをお納めすることで得られる当社グループの売上や利益は、これまで培ってきた有形無形の技術やノウハウと、これらを身につけた人材の力によって得られるものであり、これらの価値を高めて経営をおこなうことを改めて表明したものといえます。先人たちの技術・ノウハウを継承する人材を育て、その技術と人材の力で社会課題やお客様のニーズに応えつつ、さらに技術を発展・継承していくことによって、当社グループだけでなくお客様や社会とともに持続的に成長していくことができるものと考えております。

当社グループでは、知的財産を蓄積・強化するほか、外部の企業や団体などと連携したオープンイノベーションによる研究開発や事業を推進して技術・ノウハウと人材の力を高め、お客様や社会の課題を解決し、世の中に価値があると認められるものを提供してまいります。加えて、これらの成果をこのタクマ技報や学会等を通じて発信し、世の中に有用な技術・知見・ノウハウを提供していくことで、社会に貢献し、企業としての価値を高めてまいります。引き続き、皆さまのさらなるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

以上